

答申案作成に向けた策定委員の意見一覧(市民意見等を踏まえ今後議論すべき事項)

| No. | 大項目 | 中項目/分野 | 小項目 | ページ | テーマ | 質問者 | 意見要旨 | 全体議論 | 分野別議論 |
|-----|--------------------|----------------------|-----|-----|--------------|-----|--|------|-------|
| 1 | 2.武蔵野市における長期計画について | 3.長期計画の役割と位置づけ | | 4 | 長期計画の重要性の再定義 | 中村 | 2 長期計画の重要性の再定義 ・ここまで、「長期計画に書かれていないことは施策として展開できない。」との武蔵野市が行ってきた対外的な説明に違和感を覚えてきたのは事実である。 ・しかしながら、長期計画ほど、市職員も労力をかけ、無作為抽出ワークショップ等を重ね、市民意見を丁寧にすくい上げている行政計画はなく、また他行政計画で同様の取り組みを実施する余裕もないと思われる。 ・従って、長期計画こそは、武蔵野市が長年にわたり培ってきた武蔵野市方式の市民自治のあり方の象徴であり、その責任から逃げることなく、労力をかけ、市民からの批判にも向き合い、市職員と調整を重ね、ポジションを取っていく積極姿勢が重要であると、自分の考えを改めた。 ・そして、この手間暇をかけて徹底的に市民意見を抽出し、今後の10年を考えるプロセスを5年に一度行っていくことの重要性は、広く市民とコンセンサスを図っていくべきと考える。 | | ○ |
| 2 | 2.武蔵野市における長期計画について | 5.進捗管理と評価について | | 5 | 長期計画の評価 | 栗原 | 長期計画に掲げた施策の進捗状況及び実態について長期計画の策定委員会で評価する、とありますが、それまで市の計画に関わってこなかった委員にとって、いきなり上記のことを評価するのは、難しいのではないかと思います。計画の評価は、それを作った委員会のメンバーで行うのが良いのではないのでしょうか。(計画の作り方) | ○ | |
| 3 | 2.武蔵野市における長期計画について | 6.策定の流れと本計画案について | | 5 | 計画づくりへの市民参加 | 栗原 | 計画づくりへの市民参加については、参加の仕組みが工夫されてきていることはわかるのですが、それを行政の人が内部の検討で決めている、というのが現状だと思います。結果として、市民参加が進んだ部分があれば、後退した部分もあると思います。今回の長期計画もそうですが、各計画について、公募市民委員の選任、市民参加の手法などについて、今後に向けた検討が必要だと思います。(市民参加を進めるには) | ○ | |
| 4 | 2.武蔵野市における長期計画について | 6.策定の流れと本計画案について | | 6 | 市長との意見交換会 | 保井 | 市長との意見交換がなされているのかという質問がありました。6ページの図に「市長・策定委員の意見交換」と明記してはどうでしょうか。(今の「ヒアリング」となっているとかが該当箇所かと思いますが、何のことか伝わりにくいです。) | | ○ |
| 5 | 3.これまでの実績と評価 | 2.第五期長期計画・調整計画の実績と評価 | | 8 | 小中一貫教育 | 栗原 | P8②子ども・教育 小中一貫教育の検討については経過を書くのが良いと思いますが、「懇談会」が「全市的な議論をする場」であったかということについては疑問が残ります。(市民参加における行政主導の課題) | | ○ |
| 6 | 3.これまでの実績と評価 | 2.第五期長期計画・調整計画の実績と評価 | | 8 | 男女平等推進条例 | 栗原 | P8③文化・市民生活 市民・文化生活のところに、「男女平等の推進に関する条例」の策定と、それによって男女平等推進の分野で市民との協働が進んだ、ということを書いても良いと思います。 | | ○ |
| 7 | 3.これまでの実績と評価 | 2.第五期長期計画・調整計画の実績と評価 | | 9 | 先進事例 | 中村 | P9⑤都市基盤 先進事例 意見:(市民、市議)武3.4.27号線、景観ガイドラインの作成など、先進的に行ってきた市民協働型都市整備については書いていくべき。 検討:記載を検討 | | ○ |
| 8 | 3.これまでの実績と評価 | 2.第五期長期計画・調整計画の実績と評価 | | 9 | 地区まちづくり計画 | 保井 | P9⑤都市基盤 都市基盤の実績と評価に「地区まちづくりに関する諸制度を創設してきたが」と「十分に活用されていない現状である」の間に、西久保では取り組みが進んでいることの評価を入れてください。 | | ○ |
| 9 | 4.市政を取り巻く状況について | 2.将来人口推計 | | 10 | 人口推計 | 中村 | 人口推計 意見:(市民、市議)P10 この推計が正しいのか分からない。 検討:推計値が1%ズレた時の再推計ルールを記載。 | | ○ |
| 10 | 4.市政を取り巻く状況について | 3.財政計画の概要 | | 12 | 財政力指数 | 中村 | 財政状態 意見:(市民)P12 財政力指数の良さが、どれだけのものか分かりづらい。 検討:市の財政力指数の平均値を記載。その他の工夫を検討。 | | ○ |

答申案作成に向けた策定委員の意見一覧(市民意見等を踏まえ今後議論すべき事項)

| No. | 大項目 | 中項目/分野 | 小項目 | ページ | テーマ | 質問者 | 意見要旨 | 全体議論 | 分野別議論 |
|-----|-------------------------|---------------|------------------------------|-----|-----------|-----|---|------|-------|
| 11 | 4. 市政を取り巻く状況について | 4. 社会経済情勢等の変化 | | 17 | 外国人人材 | 久留 | P17「外国人人材受け入れ制度の拡大・在住外国人の増加」1行目 平成31(2019)年4月1日に、改正入管法が施行されていますので「特定技能」を標記した方が良いかなと思います。 「・・・新たな在留資格の新設等によって」→「・・・新たな在留資格(特定技能)の新設等によって」 | | ○ |
| 12 | 6. 第六期長期計画における基本課題等について | 2. 基本課題について | B. まちの活力の向上・魅力の発信 | 20 | シビックプライド | 中村 | 基本課題B、P63基本施策2(3) シビックプライド 意見:(市民、市議)P20 プライドという言葉のイメージに違和感がある。 検討:「地域アイデンティティ」、「武蔵野美德」という言葉への置き換えも検討。ただし、一般用語(市への愛着等)ではなく、象徴的キーワードへの置き換えは必要。 | ○ | |
| 13 | 6. 第六期長期計画における基本課題等について | 2. 基本課題について | B. まちの活力の向上・魅力の発信 | 20 | シビックプライド | 栗原 | 基本課題B、P63基本施策2(3) 「シビックプライド」は用語解説によると、「住民や来街者が抱く愛着や誇り」であり、「地域活性化に取り組む人々の基本的な動機」とあります。私は、「愛着」と「誇り」は違うものだと思いますし、住民が「このまちが好きだ(受け身と享受)」と思うこと、「このまちを良くしよう(思いと参加)」と思うことも違うことだと思います。また、「来街者」がまちに抱く感情(好感・すみたいまち)もちょっと違うと思っています。私としては、この計画で進めたいことは、「まちの魅力を高めること(自分たちの街を魅力的にデザインしていくこと)」「まちを良くしようという思いを共有すること」であり、その結果として、まちへの思い(愛着)が少しずつ醸成されていくことです。つまり、「まちへの愛着」としてのシビックプライドというものは、思いを共有した取り組みの結果として生まれるものではないか、ということで、シティプロモーションやブランディングとは少し違うことなのではないか、と思っています。(シビックプライド) | ○ | |
| 14 | 7. 重点施策 | | | 23 | 象徴的プロジェクト | 中村 | 1 10年先に向けた夢が必要 ・武蔵野市の行政計画の最上位ということで、基本的に個別計画等からのボトムアップ後に抽象化を図るという手堅いフローにて作り上げてきた本計画案は、その弊害として、市民に対して10年先に向けた夢(ビジョン)を提示するという面が弱くなってしまっている。 ・委員においても、最上位計画という本計画案の重みにより、中立性を意識するあまりに、ポジションを取って良いのかという躊躇があるものとも思料する。 ・市民には、本市での将来の生活に明るい夢を持ちたい、という渴望感があり、それに応えていくことも本委員会への期待であることが確認された。 ・キャッチコピー等の抽象的なものではなく、分野ごとに、この10年間に市民にワクワク感を持たせる象徴的プロジェクトの明記を提案したい。 | ○ | |
| 15 | 8. 施策の体系 | 1. 健康・福祉 | 3. 安心して暮らしていただけるための相談支援体制の充実 | 29 | 生活困窮者支援 | 久留 | 基本施策3(3) 従来の「生活困窮者＝低所得者」という捉え方は間違いではないが、所得の多寡にかかわらず今後「要生活支援者」が増加することを説明してきた。事務方からは「経済的な問題だけではなく、家族の問題や心身の問題など、多様かつ複合的な課題を抱えている人・・・の表現で対応と説明を受けているので理解はしているものの、それでも「生活困窮者の自立を支援する事業を推進し」の部分は、前段で例示された対象を全て受け止めていることになっているのが気になっている。 | | ○ |
| 16 | 8. 施策の体系 | 1. 健康・福祉 | 3. 安心して暮らしていただけるための相談支援体制の充実 | 29 | 障害者雇用 | 栗原 | 基本施策3(4) 障害者の雇用の促進について、私は市が障害者雇用(特に障害の状態が変動しやすい精神障害者についての雇用)のモデル事業所になると良いと思いますが(そのためには、それを支援する人が必要になりますが)、P29の記述で、そういう取り組みは準備できますか。 | | ○ |
| 17 | 8. 施策の体系 | 2. 子ども・教育 | 2. 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援 | 35 | 学童クラブ | 栗原 | 基本施策2(3) 学童クラブについては、「様々な条件整備を進めて4年生以上の受け入れを目指す」とできないでしょうか。(学童クラブ) | | ○ |
| 18 | 8. 施策の体系 | 2. 子ども・教育 | 2. 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援 | 35 | 18歳以下医療費 | 久留 | 基本施策2(4) 「制度の導入を目指す」としたことについて、踏み込み過ぎでは?との指摘を受けて、このままで行くにしても、策定委員会としての再度の意思確認をすべき事案である。 | ○ | |

答申案作成に向けた策定委員の意見一覧(市民意見等を踏まえ今後議論すべき事項)

| No. | 大項目 | 中項目/分野 | 小項目 | ページ | テーマ | 質問者 | 意見要旨 | 全体議論 | 分野別議論 |
|-----|----------|-----------|-------------------------------|-----|--------------|-----|--|------|-------|
| 19 | 8. 施策の体系 | 2. 子ども・教育 | 2. 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援 | 35 | 児童館 | 栗原 | 基本施策2(5) 児童館のことに限らず、その機能の大切さを確認し、吉祥寺・中央地区の施設の建て替えや市有地の利活用の時に併せて検討する、という風にできないでしょうか。(児童館(機能)) | | ○ |
| 20 | 8. 施策の体系 | 2. 子ども・教育 | 3. 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実 | 35 | 子育てに関する地域の団体 | 栗原 | 基本施策3(1) 子育てに関わる地域の団体については、福祉の団体と同様。(対話と協働) | | ○ |
| 21 | 8. 施策の体系 | 2. 子ども・教育 | 4. 子どもの「生きる力」を育む | 36 | 生きる力 | 栗原 | 基本施策4 リード文 「生きる力」については、文部科学省の説明を用語解説に加えること、武蔵野市で育つ子どもたちにとっての生きる力とは何なのか、市としてのビジョンをもつのが良いのではないかと思います。例えば、あそびを通じた心身の発達の保障、良質な食と睡眠の確保、ともに育つことによって共に生きる力が高まること、などが考えられます。 | | ○ |
| 22 | 8. 施策の体系 | 2. 子ども・教育 | 4. 子どもの「生きる力」を育む | 37 | ICT活用 | 栗原 | 基本施策4(3) ICTの活用については、その有用性が言われ、利活用が進むことに対する対応が必要とされていますが、子どもの世界でICTがどんどん使われていくこと(それとおそらく反比例して、子どもの外遊びなどが減っていくこと)の課題についても、言及する必要があるのではないのでしょうか。(ICTの功罪) | | ○ |
| 23 | 8. 施策の体系 | 2. 子ども・教育 | 4. 子どもの「生きる力」を育む | 37 | 武蔵野市民科 | | 【計画案検討時からの積み残し事項】 基本施策4(4) 武蔵野市民科について | ○ | |
| 24 | 8. 施策の体系 | 2. 子ども・教育 | 4. 子どもの「生きる力」を育む | 37 | インクルーシブ | | 【計画案検討時からの積み残し事項】 基本施策4(5) インクルーシブ教育について | ○ | |
| 25 | 8. 施策の体系 | 2. 子ども・教育 | 4. 子どもの「生きる力」を育む | 38 | 外国人児童 | 大上 | P37基本施策4(5)、P38基本施策5、P40基本施策1(3) ●日本語話者でない児童生徒の支援について 在住外国人の子ども(または日本国籍であっても日本語を母語としていない子ども)の就学時の言語支援サポートについて、「(3)平和・文化・市民生活基本施策1(3)在住外国人の支援」中の“教育”に包含するだけでは、実情に対し弱すぎると思います。 私の子どもが通う学校では日本語話者でない児童生徒や保護者が徐々に増え、市が派遣する言語支援ボランティア?では時間数が足りず、保護者で構成する学校ボランティアにも言語サポートの依頼がきました。しかし保護者がそうそう対応できる問題ではなく、その後どんな対応がとられたのか、今でも心配に思っています。また、日本語話者である保護者にとっても慣れるまでは意味がわからない“学校用語(しかも学校ごとに微妙に違う)”を、日本語話者でない保護者がどこまで理解できるでしょうか? 日本の学校なのだから自分で理解する努力をすべき、と切り捨てるのは時代遅れです。「武蔵野市として」「武蔵野市の公教育として」もっとできることがあると思いますし、六長で示すべきことなのではないかと思います。そして、ここで支援を受けた人たちが次の支援者となる仕組みも用意しておけば、スタートは大変かもしれませんが、持続可能なサポートの仕組みとなると考えます。 日本語話者ではない児童生徒・保護者の言語支援について、(インクルーシブ教育ではありませんが)p.37「基本施策4(5)一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実」の中に新たに書き込むか、p.38「基本施策5 教育環境の充実と学校施設の整備」に項目を新設するのはいかがでしょうか。 | | ○ |

答申案作成に向けた策定委員の意見一覧(市民意見等を踏まえ今後議論すべき事項)

| No. | 大項目 | 中項目/分野 | 小項目 | ページ | テーマ | 質問者 | 意見要旨 | 全体議論 | 分野別議論 |
|-----|---------|---------------|---------------------------|-----|----------|-----|---|------|-------|
| 26 | 8 施策の体系 | 2. 子ども・教育 | 4. 子どもの「生きる力」を育む | 38 | 不登校 | 大上 | P38 基本施策4(6) ●不登校対策:フリースクール等に通う不登校児童生徒への経済的支援について 市教委が「不登校を克服し再び通学できるようになる」のを目指しているところなのは理解しますが、「学校」に対しネガティブになっている児童生徒が家庭の経済的事情に左右されずに「学校以外の場」を選択できる仕組みも必要だと考えます。 様々なフリースクール等がある中で、行政が「支援すべき場として認める/認めない」か判断する基準や考え方をまとめるまで一定の時間が必要となり、今すぐの支援には繋がらないかもしれません。しかし、基準・考え方を示すことができれば、市立小中学校で無償となっている授業料と教科書代に相当する費用程度の支援ならば、一定の理解を得られるのではないのでしょうか。 10年先を見据えた計画を策定するにあたりp.37「基本施策4(6)不登校対策の推進と教育相談の充実」の中に「フリースクール等を選択する児童生徒への経済的支援の仕方を検討する。」ぐらいは書き込んでもいいのではないかと思います。 | | ○ |
| 27 | 8 施策の体系 | 3. 平和・文化・市民生活 | 1. 多様性を認め合い尊重し合う平和な社会の構築 | 40 | 在住外国人の表記 | 松田 | 【計画案検討時からの積み残し事項】 基本施策1(3)在住外国人の支援 他 「在住外国人」という呼び方について、「外国人市民」という呼び方にできないか。外国人も市民であるという位置づけを明確にできる。 ⇒「外国人市民」、「外国籍市民」等を検討。 | | ○ |
| 28 | 8 施策の体系 | 3. 平和・文化・市民生活 | 2. 災害への備えの拡充 | 41 | 緊急時の情報伝達 | 久留 | 【計画案検討時からの積み残し事項】 基本施策2(4) 他 災害対策のところに情報伝達のことに加えられたが、健康危機管理のころとテロ対策のほうにも「緊急時に正しい情報を市民に伝達する」ことの必要性を書くべきではないか。対策としてはアプリの活用などになると思うので、書くのは行財政の情報提供のところでしょうか。 | | ○ |
| 29 | 8 施策の体系 | 3. 平和・文化・市民生活 | 4. 地域社会と市民活動の活性化 | 43 | コミュニティ | 中村 | 基本施策4 地域社会と市民活動の活性化 意見:(市議)P43(?)これからのコミュニティのあり方の大変革と、それに合わせた自治のあり方について踏み込んだ記載をするべき。 検討:重要な要素なので検討するべき。ただし、コミュニティがどのように変革していくのか予測ができず、仕組みを作るほかないか。(ただし、市職員の市内居住促進は、これに対する一定の解のように考える。) | ○ | |
| 30 | 8 施策の体系 | 3. 平和・文化・市民生活 | 4. 地域社会と市民活動の活性化 | 43 | コミュニティ | 栗原 | 基本施策4(1) コミュニティについても福祉の分野と同じですが、特に、「これからのコミュニティ」の 提言にもあるように、行政のコミュニティへの参加と働きかけと対話のコーディネートが大切なのではないかと思います。(対話と協働) | ○ | |
| 31 | 8 施策の体系 | 1. 健康・福祉 | 1. まちぐるみの支え合いを実現するための取り組み | 26 | 支援・協働 | 栗原 | 地域で福祉に取り組む様々な団体の課題に、協働で取り組むことが必要だと思います。コミュニティもそうだと思いますが、各々の団体のあり方に応じた支援・協働の形が模索されるのが良いと思いますし、そのために、市と市民(団体)の「対話」がもっと必要だと思います。(対話と協働) | | ○ |
| 32 | 8 施策の体系 | 3. 平和・文化・市民生活 | 5. 豊かで多様な文化の醸成 | 44 | 文化振興 | 中村 | 基本施策5(1) 文化振興の重要性 検討:P44 グローバル化の進展は、社会を画一性、効率性、論理性の追求へと押しやっていますが、人々は、その補集合としての土着性、物語性、感性への欲求を増加させていく。これを満たすものが地域文化であり、都市ブランディングにとり最重要なものである。従って、この地域文化の発掘、磨き上げは、これからの都市にとっては最重要課題であり、本計画においても、より文化振興の重要性を強調した記載とすべきと思考する。 | ○ | |

答申案作成に向けた策定委員の意見一覧(市民意見等を踏まえ今後議論すべき事項)

| No. | 大項目 | 中項目/分野 | 小項目 | ページ | テーマ | 質問者 | 意見要旨 | 全体議論 | 分野別議論 |
|-----|---------|---------------|--------------------------------|-----|--------------------------|-----|--|------|-------|
| 33 | 8 施策の体系 | 3. 平和・文化・市民生活 | 7. まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興 | 47 | 文化振興 クリエイティブ産業 吉祥寺 | 中村 | P44基本施策5(1)、P47基本施策7(1)、P59基本施策6(1) 3 祀宴に終わったことの再評価 ・文化振興の重要性、クリエイティブ産業の振興、吉祥寺の知名度の都市マーケティングでの活用等は、委員会での議論と市担当課との調整の上、抑制的な方向への修正を加えての記載となったが、特段の反対意見も寄せられず、好意的評価であったと評価する。 ・反対が寄せられずに良かったという結果にするのではなく、自己抑制し、結果として適正な強度を図ることができなかったとして評価するべきであり、最終案に向けて、より踏み込んだ記載も検討していくべきと考える。 | ○ | |
| 34 | 8 施策の体系 | 3. 平和・文化・市民生活 | 7. まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興 | 47 | クリエイティブ産業 | 中村 | 基本施策7(1) クリエイティブ産業 意見:(市議)P47 クリエイティブ産業への期待は大きい。 (市議)パティエ等も武蔵野市が優位性を持つクリエイターだと認識した。 検討:「服飾デザイン、和洋菓子、建築設計、演劇関係等、文化とも密着したクリエイティブな活動は、本市の特徴であり、その実態の把握と新たな産業への発展について検討していく。また、映画・音楽・アニメーション・漫画等のコンテンツ」と、クリエイティブ産業の可能性をより正確に発信する表現への変更。 | ○ | |
| 35 | 8 施策の体系 | 3. 平和・文化・市民生活 | 7. まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興 | 47 | 商店街の活性化 | 栗原 | 基本施策7(1) まちの中心街が、賃料が高いため、チェーン店ばかりになりつつある(吉祥寺・武蔵境)ということと、路線商店街が立ち行かなくなっているという課題について、産業振興計画では、どのようなビジョンが示されたのでしょうか。(商店街の活性化) | | ○ |
| 36 | 8 施策の体系 | 4. 緑・環境 | 4. 持続可能なごみ処理体制の確立 | 52 | 商店街の活性化 | 久留 | 基本施策4(2) 市民のライフスタイルや意識改革の必要性を、もう少し強く表現してはどうかと考える。 | | ○ |
| 37 | 8 施策の体系 | 4. 緑・環境 | 5. 生活を巻き取る様々な環境の変化に伴う新たな問題への対応 | 53 | アニマルウェルフェア | 栗原 | P53基本施策5(1) 動物の課題は、「環境」というよりは「市民生活」の課題として捉えた方が良いのではないかと思います。…。(アニマルウェルフェア) | ○ | |
| 38 | 8 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 1. 個性あふれる魅力的な地域のまちづくり | 54 | まちづくりのルール | 保井 | 基本施策1(1) 地域主体のまちづくりへの支援について。武蔵境のパチンコ屋さんの話などは、ローカルルールをどこまで詰めていけるのかが大事だと思いますし、そうした話し合いを始めるためには、市民がどこで意見を出したらいいのか分からないという指摘に答えることも重要だと感じました。そこで、「地域特性に応じた成熟したまちにおける魅力あるまちづくりを進めていくためには、…ビジョンを」のあとに「…描き、土地利用や活用に関するまちづくりルールを定めていく必要がある」と書いてはどうでしょうか？そのあとの部分も「様々な主体によるまちづくり活動の始動を支援すること」とありますが、ここに対話の要素を盛り込み、「様々な主体による対話(または話し合い)とまちづくり活動の始動を支援することで」と変えてはどうでしょうか？ | | ○ |
| 39 | 8 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 1. 個性あふれる魅力的な地域のまちづくり | 54 | 土地利用の誘導 | 保井 | 基本施策1(2)計画的な土地利用の誘導 「必要な都市機能や計画的な土地利用の誘導手法」と書いてありますが、ここを、これから都市マスタープランの策定過程で必ず話し合う項目を参考に、もう少し具体的に書いてはどうでしょうか？例えば、上記に書いたような景観ガイドライン、まちづくり条例と地区まちづくりの運用に関する課題を見直し、必要に応じて強化を検討する、といったことまでは書けないでしょうか？ | | ○ |
| 40 | 8 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 1. 個性あふれる魅力的な地域のまちづくり | 54 | 土地利用の誘導 | 恩田 | 基本施策1(2)計画的な土地利用の誘導 P27(1)3行目の「吉祥寺地区の病床数～病床確保に向けた取り組みを進める。」を踏まえ、P54「(2)計画的な土地利用の誘導」の施策に以下を追加したい。 2行目「都市計画と産業振興施策、農業振興施策、地域医療施策等をはじめ様々な分野と連携を強化する。」 末尾「なお、吉祥寺地区の病床確保(P27 参照)については、第3期健康福祉総合計画、地域医療構想2017及び地区まちづくり協議会の提案を踏まえ、病院立地に向けた取り組みを進める。」 | | ○ |

答申案作成に向けた策定委員の意見一覧(市民意見等を踏まえ今後議論すべき事項)

| No. | 大項目 | 中項目/分野 | 小項目 | ページ | テーマ | 質問者 | 意見要旨 | 全体議論 | 分野別議論 |
|-----|----------|---------|------------------------|-----|-------------|-----|---|------|-------|
| 41 | 8. 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 1. 個性あふれる魅力的な地域のまちづくり | 54 | 景観ガイドライン | 保井 | 基本施策1 リード文 (3)魅力的な景観の保全と展開 「良好な都市景観を形成してきたことが高く評価されている。今後も景観ガイドラインに基づく開発調整や・・・とありますが、そのあとに「屋外広告の規制」を入れてはどうでしょうか？市民意見交換会でた吉祥寺の屋外広告に関する指摘に共感が集まっていたように思います。 | | ○ |
| 42 | 8. 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 1. 個性あふれる魅力的な地域のまちづくり | 53 | 景観 | 中村 | 基本施策1 (3)魅力的な景観の保全と展開 意見:(市民)吉祥寺の景観が乱れており、シビックプライドの観点からも問題。 (市議)武蔵境の景観も乱れている。 検討:P54 景観ガイドラインではなく、景観条例を目指す追記 | | ○ |
| 43 | 8. 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 4. 安全で快適な道路ネットワークの構築 | 58 | 生活道路 | 中村 | 基本施策4(1) 道路 意見:(市民)P58 生活道路への流入車両について、法令順守の徹底を記載すべき。 検討:記載を検討 | | ○ |
| 44 | 8. 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 4. 安全で快適な道路ネットワークの構築 | 58 | 女子大通り | 栗原 | 基本施策4(2) 女子大通りについては、そこに住む市民にとっては大変深刻な問題であることを踏まえて、丁寧な対話の継続が課題だと思います。(対話) | ○ | |
| 45 | 8. 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 4. 安全で快適な道路ネットワークの構築 | 58 | 女子大通り | 保井 | 基本施策4(2) ・女子大通りをはじめとする道路事業への視点をよりはっきり、丁寧に示す必要があると感じました。例えば、基本施策4の説明の4行目「都市計画道路や区画道路については、社会情勢や交通需要を踏まえ」の後に「今後の交通体系と誰もが使いやすい交通環境のあり方の視点から、」という言葉は足してはどうでしょうか？ ・(2)について。優先整備路線について語句説明を入れてはどうでしょうか？優先整備路線の意味と武蔵野市内の路線名を書いておくと、「ここは入っているのか？」と言った質問は出ないと思います。 ・女子大通りについては「より一層丁寧な説明・・・」のくだりを「より一層丁寧な説明と話し合いを行いながら」として、一方的に進めるようなことはしないと明記してはどうでしょうか。 | ○ | |
| 46 | 8. 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 4. 安全で快適な道路ネットワークの構築 | 58 | 外環の2 | 保井 | 基本施策4(3) 外環の2については、より踏み込んだ書き方をしてもいいのではないかとというのが策定委員会でも何度か出ています。再度にはなりますが、できるだけ検討をお願いします。 | ○ | |
| 47 | 8. 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 6. 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり | 60 | 吉祥寺グランドデザイン | 中村 | P60基本施策6(1)① 吉祥寺グランドデザイン 意見:(市議)P60 吉祥寺グランドデザインの位置づけが不明確 検討:吉祥寺グランドデザイン、ネクスト吉祥寺、そして長期計画の役割を整理の上、記載。吉祥寺の課題について、各計画に付け回さず、早期かつ確実に対応していく仕組みを明記する。 | | ○ |
| 48 | 8. 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 6. 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり | 60 | 武蔵野公会堂 | 中村 | P60基本施策6(1)② 武蔵野公会堂 意見:(市議)P60 武蔵野公会堂について、一定の方向性を示すべき。 検討:長計委員会として、「武蔵野市が誇る都市文化の象徴的施設としての再整備を進める。」と打ち出す。 | | ○ |
| 49 | 8. 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 6. 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり | 60 | 公会堂 | 栗原 | P60基本施策6(1)② 公会堂については、状況の変化に対応しつつ、この10年で結論を出す、というつもりで、吉祥寺のまちにどのようなものが必要なのかを、幅広い市民参加で検討を始めるのが良いのではないかと思います。それこそ、夢を語り合えると良いのではないかと思いますし、その中から新しい施設の形が浮かび上がってくると良いのではないかと思います。(施設の建て替え) | | ○ |

答申案作成に向けた策定委員の意見一覧(市民意見等を踏まえ今後議論すべき事項)

| No. | 大項目 | 中項目/分野 | 小項目 | ページ | テーマ | 質問者 | 意見要旨 | 全体議論 | 分野別議論 |
|-----|----------|----------|----------------------------------|-----|--------------------|-----|--|------|-------|
| 50 | 8. 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 6. 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり | 60 | 公会堂 | 恩田 | P60基本施策6(1)② 第3パラグラフのイーストエリアについては、以下の内容に書き換えを提案する。 「イーストエリアについては、これまでの環境浄化の取り組みや良好な商業環境の創出を踏まえ、引き続き区画道路の整備や沿道のまちづくりを進めるとともに点在する自転車駐車場の配置の適正化を図っていく。また、暫定自転車駐車場として使用している23街区の市有地の土地利用については、バリアフリー化や道路拡幅に伴う敷地削減など課題のある本町コミュニティセンターの移転を含めた検討を進め、エリア全体の活性化を図っていく。」 | | ○ |
| 51 | 8. 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 6. 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり | 60 | バスターミナル タクシープール | 栗原 | P60基本施策6(3) 突拍子もないことと思われると思いますが、武蔵境駅南口の駅前のバスターミナルとタクシープールを地下化して、地上を緑の空間として整備したら、素晴らしい駅前になるのではないかと思います。(100年計画?) | | ○ |
| 52 | 8. 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 6. 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり | 60 | プレイス前・開発事務所跡地 | 栗原 | P60基本施策6(3)、P64基本施策3(2) 武蔵境では、プレイスの前の公園、開発事務所跡地など、地域の市民とともに利活用を考えられると良いと思います。(市有地の活用) | | ○ |
| 53 | 8. 施策の体系 | 5. 都市基盤 | 6. 活力とにぎわいのある駅周辺のまちづくり | 60 | 武蔵境の駅周辺 | 保井 | P60基本施策6(3) ・「駅前の都市基盤整備について一定の完了を迎えた」とあるが、ここは実績を書き込む場所ではないので削除したらどうでしょうか。武蔵境では事業が終わったという表現に反応される市民が多いと感じました。「北口駅前広場や南口駅前広場の都市基盤整備が進んでおり、今後は武蔵境駅北口の区画道路や・・・とつながるようにしてはどうかと思ひます。 ・3.4.27号線が入っていないという指摘がありました。検討していただければと思います。 | | ○ |
| 54 | 8. 施策の体系 | 6. 行. 財政 | 2. 効果的な広報・広聴の仕組みづくりとオンラインプロモーション | 62 | 広聴 | 栗原 | P63基本施策2(2) 広聴についてですが、様々な人のニーズや思いを聞き取ることが、多様性の時代の市政運営には求められると思いますが、特に声をあげにくい「当事者」の声を丁寧に聞き取る取り組みが重要だと思います。(広聴の課題) | | ○ |
| 55 | 8. 施策の体系 | 6. 行. 財政 | 3. 公共施設等の再構築と市有地の有効活用 | 64 | 未利用地 | 栗原 | P64基本施策3(2) 市の未利用地で用途が決まっていないものを、暫定的に原っぱとして整備して、子どもたちの外遊びの空間として活用できないかと思ひます。(未利用地) | | ○ |
| 56 | 8. 施策の体系 | 6. 行. 財政 | 5. 多様な人材の確保・育成と組織の活性化 | 65 | ICT | 中村 | P65基本施策4(3) ICT 意見:(市議)P65 ICTの活用を、注視ではなく、より積極的な表現にしていくべき。 検討:「ICTの導入については、費用対効果の観点、他市の状況等踏まえ、その活用と導入について積極的に取り組んでいく。」との表現を検討する。 | | ○ |
| 57 | 8. 施策の体系 | 6. 行. 財政 | 4. 社会の変化に対応していく行財政運営 | 65 | 財政援助出資団体 | 中村 | P65基本施策4(6) 財政出資団体 意見:(市民)P65 子ども協会は、市がやるべきことを出資団体に寄せているのに、一律に自立、見直しはおかしい 検討:記載ふりを検討 | | ○ |
| 58 | 8. 施策の体系 | 6. 行. 財政 | 4. 社会の変化に対応していく行財政運営 | 65 | 財政援助出資団体 | 栗原 | P65基本施策4(6) 財政援助出資団体については、市民活動に密接に関わる取り組みが多いので、行われていることについて市民意見を届けて、活動内容について検討する仕組みが、今よりも必要なのではないかと思ひます。(市民参加・協働) | | ○ |

答申案作成に向けた策定委員の意見一覧(市民意見等を踏まえ今後議論すべき事項)

| No. | 大項目 | 中項目/分野 | 小項目 | ページ | テーマ | 質問者 | 意見要旨 | 全体議論 | 分野別議論 |
|-----|---------|------------------|--------------------------------|-----|------------|-----|---|------|-------|
| 59 | 8_施策の体系 | 6_行. 財政 | 5_ 多様な人材の確保・育成と組織の活性化 | 66 | 人材育成 | 中村 | 基本施策5(1) 人材育成 意見:(市民)P66 育成を図る専門職に保育士も追記すべき。 検討:事実を確認の上、追記を検討。 加えて、岡部委員からの再三のご指摘の通り「ICTの活用と外国人対応についての人材の育成、確保に注力し、その体制の強化を図っていく。」の追記を検討。 | | ○ |
| 60 | 8_施策の体系 | 6_行. 財政 | 5_ 多様な人材の確保・育成と組織の活性化 | 66 | 職員の市内居住 | 中村 | 基本施策5(1)他 市職員の市内居住促進 意見:(市民)市職員の市内居住率が20%を切っている中で、コミュニティによる防災支援が重要 検討:これからのコミュニティ強化のため、地域アイデンティティの向上のため、シティプロモーションの草の根活動のためにも、市職員の市内居住についての助成制度の可否を検討。(経済合理性があり、市職員の質向上も期待) なお、市職員を、市民と市政をつなぐメディアとして積極評価し、その観点からも重要な施策として検討していくべきかと提案。 | ○ | |
| 61 | 8_施策の体系 | 6_行. 財政 | 2_ 効果的な広報・広聴の仕組みづくりとシティプロモーション | 63 | 市民意識調査 | 中村 | 基本施策2(3) 市民意識調査 検討:ペンディングとなっていたP14 市民意識調査の時系列分析等による、武蔵野らしさと市への愛着の希薄化(背景には、人口の社会流入増)の記載。後述のシビックプライドの醸成の重要性へとつなげる。 | ○ | |
| 62 | 9_財政計画 | 【参考】長期財政シミュレーション | | 77 | 財政シミュレーション | 中村 | 財政シミュレーション 意見:(市民)P77 図表は違うが、結論は同じ。 (市民、市議)シミュレーションの掲載そのものが誤解を与えるので不要 検討:結論は、変わらない。表現ぶりに工夫の余地あるかを検討。 データにて論じていく姿勢を示すためにも、記載すべき。 意見:(市民)P77 持続可能な財政を維持していく、と言い切る。 検討:その記載を検討。 | ○ | |
| 63 | 9_財政計画 | 【参考】長期財政シミュレーション | | 77 | 財政シミュレーション | 栗原 | 長期財政シミュレーションですが、私は以前も発言したかと思いますが、グラフは載せない方が良いという考えです。前回のものと比較して、財政の推移は5年くらい先に伸びたかと思いますが、推計の仕方が同じなのか、いずれにしても将来的に市の基金は枯渇する、というシミュレーションになっており、緊縮財政の根拠になってしまいます。視覚的に訴えるものは影響力が強いため、30年後がきちんと予測できないのであれば、ほぼ予測できるところまで(この計画であれば10年後)のシミュレーションを示しておくのが良いのではないかと思います。(長期財政シミュレーション) | ○ | |